

# 取扱説明書

SFCP - 1000S

有限会社セーフティ

## SFCP - 1000S

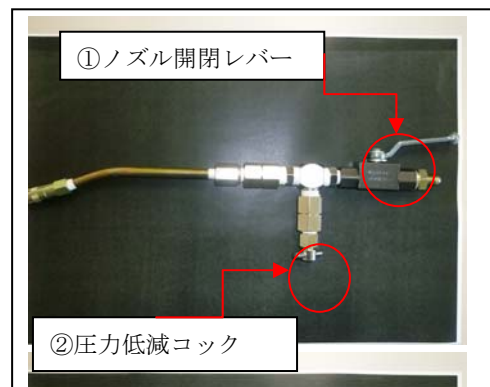
### 【使用方法】

1. 平坦な場所に設置してください。
2. 本体のモータードリルのコンセントをコントローラーに接続し、コントローラーのコンセントを電源口に接続してください。
3. 樹脂投入用のボトルキャップは、少し緩めて空気の流入を確保してください。締めすぎると樹脂が減少すると真空状態になり、樹脂の出が悪くなる事があります。
4. 樹脂を投入した後、電源を入れてコントローラーのつまみを回しモーターを作動させます。注入ノズルから樹脂が流出す事確認した後作業に取り掛かってください。
5. 取り付けした注入パッカーの先端に対して注入ノズル口を垂直にして装填してください。
6. 装填後電源を入れ、コントローラーのつまみを回して注入圧力を調整して作業してください。
7. 作業終了後は、アセトンなどの溶剤をボトルに入れて樹脂が取り除かれるまで洗い流してください。
8. 保管する際は、ボトルにエンジンオイル等を入れてモータードリルを作動させて循環させて保管してください。
9. 使用の際、降雨等で雨や水が直接機器に掛らないよう注意してください。



### 【作業時の注意事項】

1. 注入作業中に樹脂が詰まって圧力が機器に加わった場合は、そのままノズルを外すとノズルの破損、パッカーの破損、樹脂の噴出などの現象が発生する事があります。このような症状が発生した場合以下の処置を施してください。
  - ① 電源を切って、ノズル部の開閉レバーを閉めてください。
  - ② 圧力低減コックを開けて樹脂を出して下さい。コックを開けると樹脂が飛び出して周辺に飛び散って汚す恐れがあるので、ウエス等で押さえながら作業を行ってください。
  - ③ 作業終了後は、圧力低減コックの部分も十分洗浄して樹脂を取り除いてください。



#### 【コントローラー使用に際しての注意事項】

1. 注入時コントローラーを全開にして使用しても動力が低下してきた場合は、電源を切って、注入を停止してください。
2. サブスイッチのコントローラーを“0”にしても微小電流が流れている場合があります、モーターに負荷が掛るのでメインスイッチを必ず切ってください。
3. モーターに長時間負荷が掛るとモーターの故障の原因となりますのでご注意ください。
4. コントローラーは、水濡れ等にならないよう注意して使用してください。
5. エポキシ樹脂を使用した時は、すぐに洗浄して樹脂を取り除いてください。

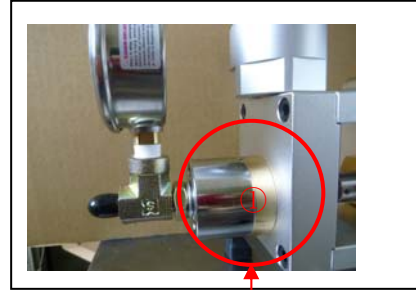


## 【故障処理方法】

機械吐出圧力が著しく落ちた時

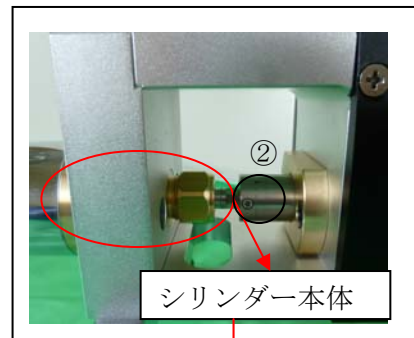
### 1. スプリングとボールの清掃又は交換

- ① 右の写真の圧力計の後ろ部分にスプリングとボールが入っています。
- ② スプリングとボールが入っている部分に樹脂が詰まると吐出力が落ちます。使用した樹脂の塊が付着すると起ります。
- ③ 圧力計の取付部を左に回すとゆるくなってスプリングとボールが出るようになります。スプリングとボールを取り出して綺麗に洗浄して元に戻して使用してください。
- ④ スプリングとボールに腐食や摩耗が見られた場合は、新しいものと交換してください。



### 2. シリンダー

- ① ピストンロードで少しずつ薬品が漏れる時
  - i. パッキンの締め付けボルトを18mmのスパナで、半周程軽く締めつけます。(工場出荷時は少しゆるくしてあります。)
  - ii. 使用するとき定期的に締めつけます。



### ② シリンダーの摩耗

- i シリンダーの摩耗により圧力が低下します。  
樹脂等の詰まりが無く圧力が低下している場合は、シリンダーの摩耗が考えられます。
- ii シリンダー交換
  - ①のホース取付部を取り外して、シリンダーを新しいものと交換してください。

